

令和5年度WAM主催オンライン学習会

「具体的な計画をつくるには？－助成事業実施団体の経験の語りから」

# 活動の経験を次の計画づくり や事業展開に活かすには？



2023年12月7日

認定NPO法人アカツキ 理事・職員 永田 賢介

# 永田賢介と申します。

## ■略歴として

プチ不登校 → 保育士資格 → 大学職員 → 東京で修行 → 独立

## ■その他の肩書き

認定NPO法人 Our Planet-TV 理事 認定NPO法人 DEAR 評議員

## ■好きなもの・関心事項

犬、猫、銭湯、スニーカー、ホラー、BTS、IVE、法律の勉強 等

## ■当事者としての関心分野

うつ、ひきこもり、自死念慮、発達障害、ジェンダー、人権など

# 認定NPO法人アカツキ

## - 主な事業内容

ファンドレイジング・内部コミュニケーション

・ NPO法人事務のコンサルティング支援

NPO法人向け助成金拠出と他機関の

助成プログラム開発・改善支援



相談・雑談・話し合い



# 認定NPO法人アカツキ



- ▶ 活動年数：12事業年度目
- ▶ 役員／職員数：8名／5名
- ▶ 会員数：約120名
- ▶ 事業規模：約1200万円
- ▶ 財源構成比：↓

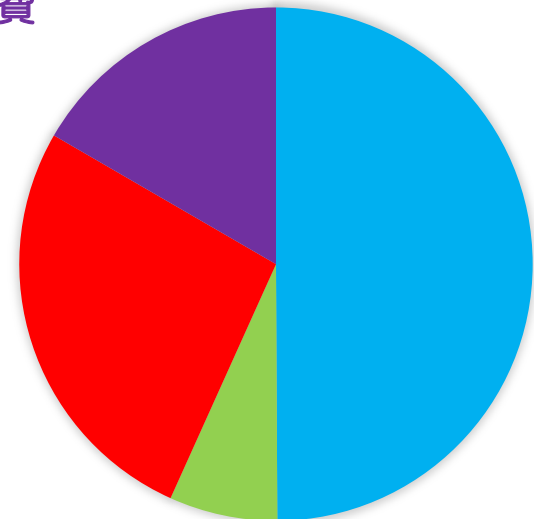
▶ 2022年度実績  
クライアント：11団体  
単発相談：40件程度  
助成先：4団体

寄付・会費  
17%

自主事業  
26%

助成金・  
補助金  
7%

行政委託  
50%



# クライアントNPO (2022)



叡	花	泰	泡	聴	漢	拓	寓	馬	仲
未	愉	家	幸	温	笑	思	南	縁	浮
育	再	鬼	誠	仏	託	吉	草	歩	幸

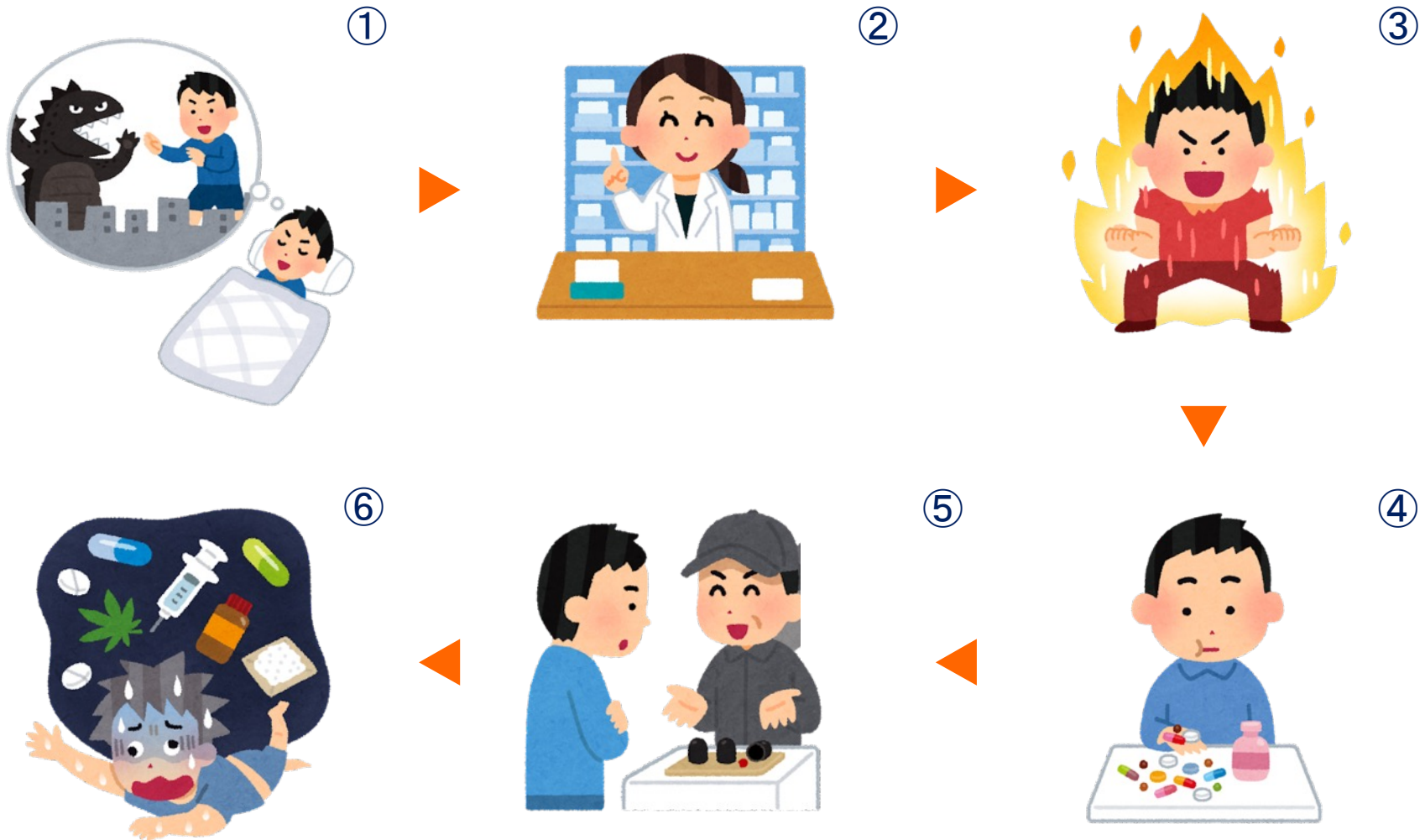
## 立ち止まり対話するための助成金

「AKBN（アケボノ）ファンド」

認定NPO法人アカツキ

旭	反	寄	省	葉	楽	雑	義	踊	加
回	權	信	陽	依	福	理	旅	知	志
健	和	地	自	普	掘	他	添	暮	笑

# 助成金と向き合うために



# 資金と向き合うために

「お金があれば可能性が広がる！」

→ 金の切れ目が縁の切れ目に

「少しでもお金を払ってあげたい！」

→ お金で済ませばモチベが下がることも

「ビジネスで儲かる仕組みをつくる！」

→ 市場ができれば企業が参入してくる

「福利厚生を充実させ働きやすい職場に！」

→ 「仲間」がいつの間にか「労働者」に

「資金があれば優秀な人材が確保できる！」

→ 今いる人は？優秀とは？辞めた人の理由は？



# 人にはお金以外の動機もある

- 例えば…
- ・ 役割の裁量権の広さ
  - ・ 働き方の柔軟性
  - ・ 価値観や信念と“違わない”業務
  - ・ コミュニティへの所属意識
  - ・ 1人の人間としての尊重
  - ・ 活躍の機会がある

これらについて、しっかり話し合い、考えて  
体制構築するのが、NPO・市民活動の運営のコア！

←→ ヒト／モノ／カネは人を成果の資源や手段と捉える考え方

# 今、隣にいる人と向き合う





# 松山さんに聞きたい！①

原点・軸・指針・私たちがらしさは、  
いつ、どなたが、どのような  
形式で策定したものの？

## 松山さんに聞きたい！②

助成金採択を目指すため、  
妥協したこと・しなかったことは？

## 松山さんに聞きたい！③

報告書を配布するのは、全部で何部くらい？特に注目されるのはどこ？説明の時間はもらっている？

## 松山さんに聞きたい！④

自分の言葉「ではない」のは、  
誰の言葉？具体的に書き直し  
たのはどんなもの？

## 松山さんに聞きたい！⑤

検討から申請までの期間は？  
検討の結果、助成金を申請しな  
かったのは、どんな理由で？



## 松山さんに聞きたい！⑥

振り返りの結果、次年度の  
改善に活かしたものは、例えば  
どんなこと？



# 問いかける「技術」

A) 『今年WAMに助成金申請する企画、  
このような内容でいこうと思います、  
これでよいと思いますか？』

○×問題

B) 『今年WAMに助成金申請する企画、  
どのようにすればいいと思いますか？』

記述問題

C) 『今年WAMに助成金申請する企画、  
A案、B案、C案の3つの方針で考えて  
みましたがどれが良いと思いますか？  
なお、依頼するゲストは〇〇さんで、  
合計で年〇会のイベントを実施予定です』

選択問題

# 問いかける「技術」

## ▲認識を聞く質問

代表 今年度の事業、次年度に向けてどこか改善点あった？

職員 うーん…私は成功だったと思います。

## ◎事実を聞く質問

代表 今年度の事業の中で、参加者からの疑問や改善要望、自分が困ったことはあったりした？※

職員 そういえば、受付で3名ほどお名前がなくて、焦りました。

代表 受付名簿は誰が準備してくれてたんだっけ？

職員 それが、私もはっきり覚えていなくて。

※ 望ましくは、改善点の前に「頑張ったこと」を聞く）

# 問いかける「技術」

## ▲言葉で考える会話

代表 今年度の事業、どうだったかな？

職員A 私は大成功だったと思います。

職員B 私は少し反省点もありました。

## ◎数字で考える会話

代表 今年度の事業、**100点満点で点数をつけるとしたら、自分では何点？※**

職員A 私は80点ですね！

職員B 私は…90点でしょうか。

代表 私は97点かなあ。それぞれ、点数の理由を聞かせて。

※ 望ましくは、事前に付箋やメモに「点数」を書いておく）

# ふりかえり評価とは？

「ふりかえり評価」は、  
NPOや市民活動に関わる人が  
「あの時こう思った、  
こう感じた、考えていた」  
というように、過去起きた  
出来事について、  
互いに“聞き合う”ための  
評価手法です。



- ・トヨタ財団イニシアチブ助成
  - ・福岡県委託事業
  - ・福岡市補助金
- 活用

# 既存のNPO評価



事業A

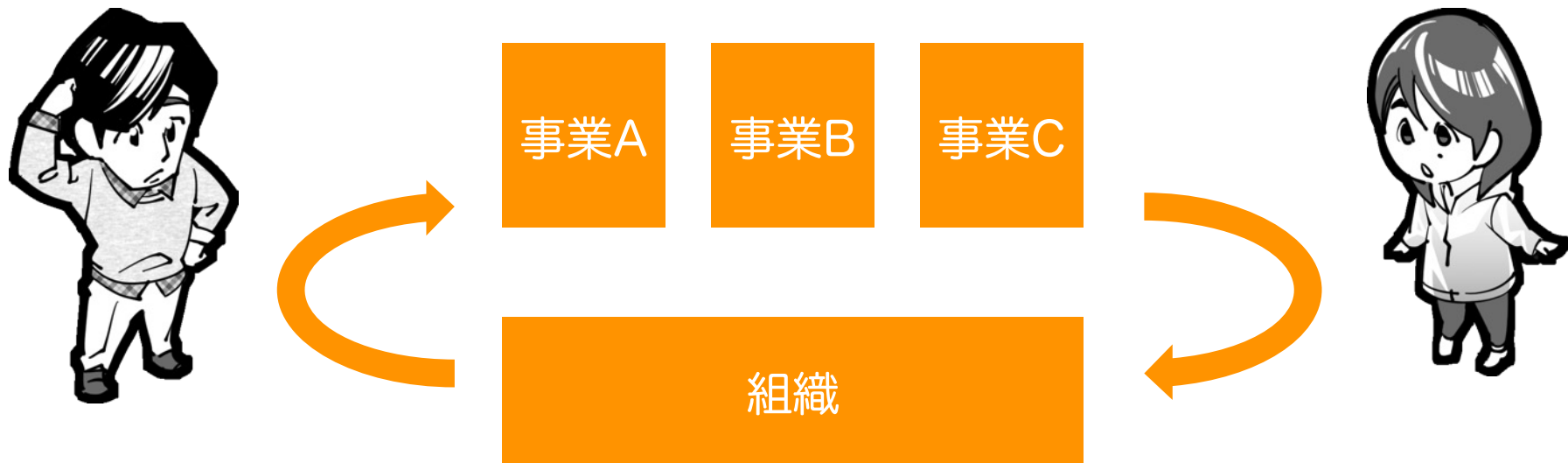
事業B

事業C

組織

第三者の専門家がやってきて評価「される」  
事業と組織はそれぞれ別物で  
組織（人）は事業（成果）の器・土台として扱われる

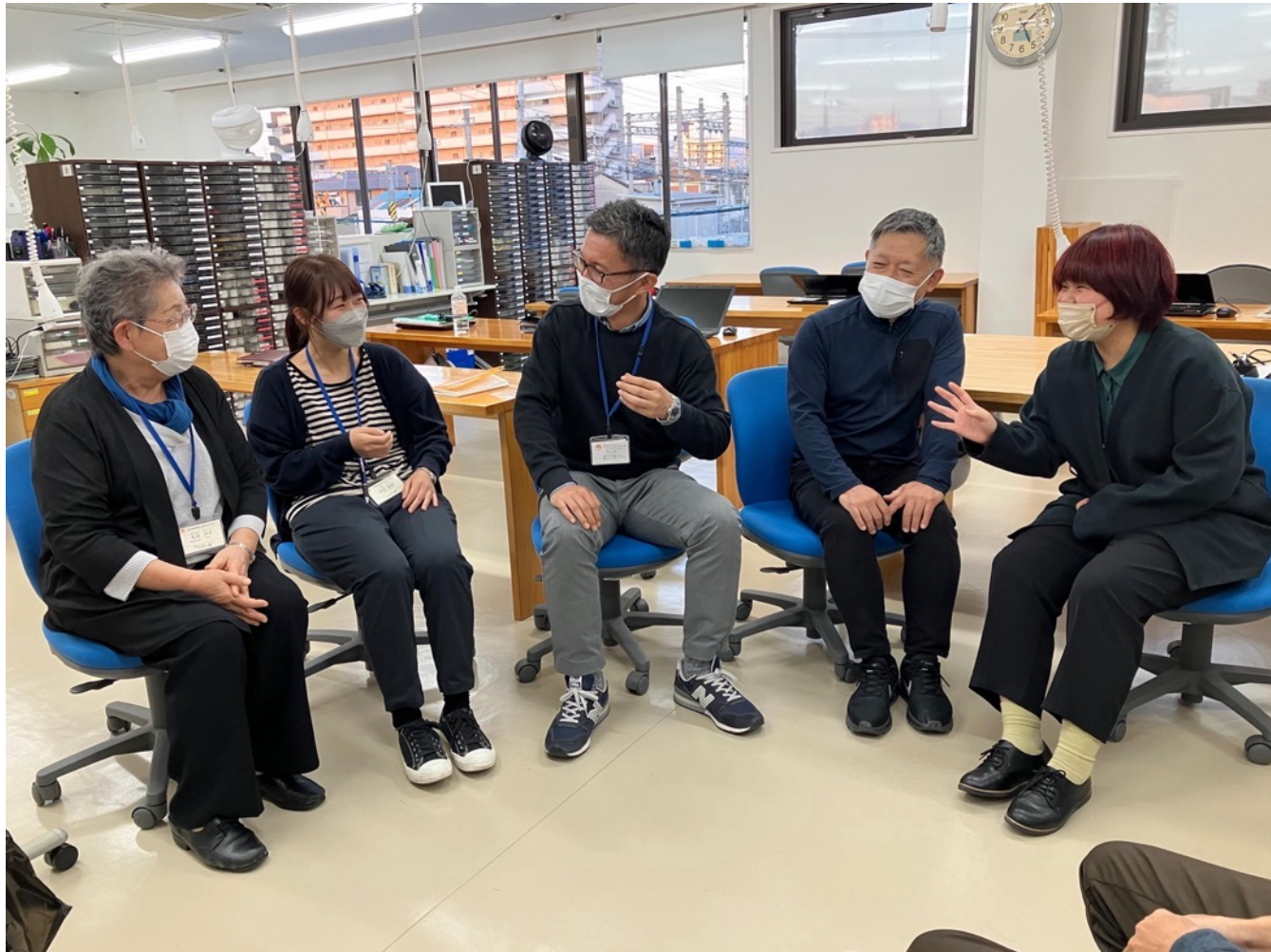
# ふりかえり評価



自分たちの組織の多様な目で事業を評価「する」  
事業と組織は相互に関連しており  
組織（人）が健全であれば事業（成果）は改善される



# ふりかえり評価



# ふりかえり評価のテーマ

- ① 嬉しかったこと
- ② モヤっとしたこと
- ③ 自分が大事に  
していること



# コミュニケーションがととのう

① 情報を揃える

② 知識を揃える

③ 文化を揃える

# プロジェクト・アリストテレス

Googleが行った「効果的なチーム構成の条件  
(共通点・因子)」の調査 2012~2016年



「全体は部分  
の総和に勝る」

